



紫輝

令和2年11月2日発行

旭市立第二中学校

TEL 0479-62-0049

FAX 0479-64-0049

学校教育目標 希望を抱き、よりよく課題を解決する逞しい生徒の育成

オリンピック・パラリンピック開催に向けて



朝夕の冷たい空気が秋の深まりを感じさせます。寒暖の差も大きくなり、木々の葉が思い思いの色に染まる季節となりました。先日、旭市教育委員会訪問があり、学校環境や生徒の授業の様子を視察しました。どの教育委員の方からも、「大変落ち着いて学習に取り組んでいますね。」とお褒めの言葉をいただきました。また、先日の部活動の新人大会においても、入賞を果たした部活動はもちろん、一人一人の夏休みからの練習の成果がよく出ていました。文武両道で頑張る二中学生をこれからもどんどん応援していきたいと思ひます。

10月23日(金)にオリンピック・パラリンピック教育講演会として、元車いすバスケットボール選手の京谷和幸さんをお招きして、「絆～人生を変えた様々な出会い～」と題し講演をいただきました。京谷さんはプロサッカー選手という夢を叶え、これからの活躍が期待された矢先、不慮の事故で車いす生活となってしまいました。その後、車いすバスケットボールで新たな夢を見出し、2000年のシドニーパラリンピックから日本代表入りを果たすと、続くアテネ・北京・ロンドンと4大会連続でパラリンピックに出場し、活躍されました。



お話の中では、京谷さんが事故に遭われてから、ベッドの上で足の自由を失ったことにより、自分の大好きなサッカーができなくなったことへの恐怖、当たり前だったことが何一つできない現状への気づきから、自分を責めたことがあったと語られました。生徒にとっても、このコロナ禍の影響により、同じような境遇に置かれたという思いが重なったのか、どの生徒も真剣に聞いていました。また、このどん底の状況を変えたのが、かけがえのない妻の存在であり、「先が見えないけれども一人ではなかった、自分はこのままじゃだめだ！」との気づきが、自分の人生を変えるターニングポイントになったとお話しされました。最後に、いつでも自分の目の前にはチャンスが広がっている。そのチャンスをつかむために力を蓄える事が大切であると話され、「有言実行」「有言行動」を座右の銘とされていること、有言不実行はしたくないとの強い信念を持つことの大切さを生徒に話をしてくれました。



お話をうかがって、京谷さんは、不自由さを知ること、今までの自分の境遇を振り返り、必要なこと、大切なこと、今やらなければならないことを考えることの大切さを、手に入れたように感じました。

私たちも、このコロナ禍によってたくさんの不自由を感じました。京谷さんと同じように、「今の自分に何ができるか、何をすべきか」を真剣に考える機会となったように思ひます。マイナスばかりに考えるのではなく、是非、自らの成長につなげていって欲しいと思ひます。

進路説明会が開催されました

10月9日（金）に3学年を対象に進路説明会を開催しました。この3年生の高校入試から制度が変更となります。主な変更点は右表の通りです。その他に2日目に各学校が定める検査として、面接や作文、自己表現等があります。

説明会では今後の進路手続きの説明、および近隣私立高校を招いて、自校の特徴等を説明していただきました。学習指導要領には、今の子供たちが成人する頃は、日本は厳しい挑戦の時代を迎え、「予測が困難な時代」と表現されています。ですから3年生になってから、自分の進路に向き合うのではなく、日々、保護者が子供と意見を交えながら、**将来の事を考える機会**ができるだけあった方がよいのではないのでしょうか。また、学校の中で様々なことに挑戦し、自分の適性を見いだす努力が重要となってくると思います。

今年度はコロナの影響で1,2年生の保護者の参加については、見送らせていただきました。詳しい公立高校入試の情報は千葉県県教育委員会HPをご覧ください。

- 「前期」「後期」を廃止し、1回の選抜となります
- 学力検査を2日間で行う
- 受検機会を保障するため追検査を行う
- 英語（リスニングテストを含む）の学力検査を60分で行う（他は50分）



密を避けるため、生徒は遠隔による教室での視聴としました。

ALT（外国語指導助手）の紹介

10月から新たなALTとして、Espiritu Beatriz（エスピリトウベアトリズ）

さんが着任されました。ベアトリズ

さんはフィリピン出身です。ネイティブの英語で英語科職員の指導の補助を行います。

まだ、慣れないことも多いと思いますが、早く打ち解け一緒に楽しく英語の学習に励んでくれることを臨みます。よろしくお願いいたします。



【「紫輝」は旭二中ホームページではカラー版でご覧になることができます】



家庭教育学級「ハーバリウム作成」

コロナウイルスの関係で延期となっていた、家庭教育学級が10月14日（水）に開催されました。今年度は「よしの生花」さんを講師に、今流行の「ハーバリウム」の作成を行いました。ハーバリウム

とはボトルの中に、ドライフラワーやプリザーブドフラワーを長いピンセットで入れ、オイルを注いでフタをしたものです。オイル

によってもたらされる独特の透明感や浮遊感、いつまでも眺めていたくなるようなみずみずしさが魅力です。細かい作業でしたが、42名、一人一人の個性が光る作品ができあがりました。

